

# 令和 3年度杉並区事務事業評価表 ( 1 )

( 00240 )

事務事業名称	青少年育成	款	04	項	02	目	01	事業	005	整理番号	247	
現担当課名	児童青少年課	係名	青少年係			連絡先電話番号	4402		昨年度整理番号	245		
上位施策No・施策名	24 子ども・青少年の育成支援の充実						予算事業区分	既定事業				
事業開始	昭和29年度											
令和 2年度担当課名	児童青少年課						事業評価区分	一般				

## 令和 2年度 事務事業の概要 ( P l a n )

対象	区内在住・在学・在勤の25歳未満の青少年、地域の青少年健全育成団体	根拠法令等	( 1 ) 杉並区青少年育成委員会補助金交付要綱 ( 2 ) 杉並区青少年善行表彰要綱
事業の目的・目標 (対象をどのような状態にしたいのか)	区内17団体ある青少年育成委員会などの地域の青少年健全育成の活動を助成し、これらの団体が行う事業活動を通して子どもたちの健全育成を推進する。善い行いをした青少年及び団体を表彰し、善行の気運醸成を図る。	活動指標	青少年育成委員会の総事業数 (共催事業も含む)
活動内容 (事務事業の内容、やり方、手段)	青少年健全育成団体に対し、補助金または事業共催分担当金を支出する。青少年によるボランティア活動や地域協力などの善行に対し、表彰を行う。すぎなみ舞祭を開催する。	指標名 ( 1 )	青少年善行表彰件数
		指標名 ( 2 )	個人表彰人数 + 団体表彰団体数
成果指標		指標名 ( 1 )	青少年育成委員会実施事業参加者数 (共催事業も含む)
		指標名 ( 2 )	共催事業参加者数
		指標説明	すぎなみ舞祭 杉並スカウト連絡会との共催事業参加者数

## 指標、総事業費・コスト把握 ( P l a n ・ D o )

区分	単位	平成30年度	令和元年度		令和 2年度		令和 3年度	令和 2年度	令和 2年度
		実績	計画	実績	計画 (目標値)	実績	計画	対計画比 (%)	予算執行率 (%)
活動指標 ( 1 )	1 件	313	400	310	400	32	400	8.0	34.1
活動指標 ( 2 )	2 件	307	200	288	200	87	200	43.5	
成果指標 ( 1 )	3 人	80,292	100,000	70,100	100,000	6,943	100,000	6.9	
成果指標 ( 2 )	4 人	1,292	1,650	1,678	1,650	196	1,650	11.9	
事業費	5 千円	20,246	21,277	20,224	19,008	6,482	20,081	特記事項	
(内) 投資的経費等	6 千円	0	0	0	0	0	0	新型コロナウイルスの影響を受け、育成委員会が実施する事業の多くが中止となり、助成額が予算額を大きく下回りました。 また、上記に関連して善行表彰の推薦件数も減少したため、予算の執行率は約80%となっています。 成果指標 ( 2 ) についても新型コロナウイルスの影響が大きく、すぎなみ舞祭は規模を縮小しての開催、杉並スカウト連絡会との共催事業は全 8 回を予定していましたが、1回も開催できませんでした。このため、実績値が計画値を大きく下回っています。	
(内) 委託費	7 千円	71	97	86	135	50	105		
職員数	8 人	2.85	2.20	3.47	2.20	2.69	1.60		
上記以外の職員	9 人	1.67	1.70	2.35	2.10	1.90	1.50		
人件費	10 千円	24,014	18,537	30,251	19,180	22,873	13,605		
上記以外の職員	11 千円	5,159	5,251	7,238	6,468	6,893	5,442		
総事業費 (5+10+11)	12 千円	49,419	45,065	57,713	44,656	36,248	39,128		
単位当たりコスト ((12-6) ÷ 1)	13 円	157,888	112,663	186,171	111,640	1,132,750	97,820		
財源	受益者負担分	14 千円	0	0	0	0	0		
	国からの補助金等	15 千円	0	0	0	0	0		
	都からの補助金等	16 千円	0	0	0	0	0		
	その他の補助金等	17 千円	0	0	0	0	0		
	特定財源計 (14+15+16+17)	18 千円	0	0	0	0	0		
差引：一般財源 (12-18)	19 千円	49,419	45,065	57,713	44,656	36,248	39,128		
受益者負担比率 (14 ÷ 12)	20 %	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		

# 令和 3年度杉並区事務事業評価表（2）

## 令和 2年度 事業実施状況（D o）

整理番号 247

	内 容	規模	単位	事業費（千円）
主な取組	青少年育成委員会活動への助成	16	件	5,461
	すぎなみ舞祭、ボーイスカウト等共催事業の開催	1	件	626
	青少年善行表彰の表彰状授与及び記念品の贈呈	87	件	317
	その他（青少年育成委員会に係る消耗品等）			78
事業実績	<p>令和2年度は新型コロナウイルス感染症の影響が大きく、例年と比較して事業の実施件数や参加者数が大きく減少しています。青少年育成委員会に対しては、青少年健全育成事業の実施促進を目的に助成を行い、32事業が行われ、延べ6,943人が参加しました。また、すぎなみ舞祭は青少年の健全育成に関わる団体等と実行委員会を組織し、コロナ対策を講じながら下高井戸おおぞら公園で開催し、延べ1,000人の来場者と196人の参加者がありました。善行表彰は例年、推薦対象となっていた事業の中止が多く、個人、団体併せて87件、221人の表彰に留まりました。</p>			

## 令和 2年度 評価と課題（C h e c k）

事業開始当初から現在までの環境の変化と事業に対する意見（期待・要望・苦情など）	<p>【青少年育成委員会委員数 / 事業参加者数】 H30：948名 / 80,292名 R1：965名 / 70,100名 R2：925名 / 6,943名 青少年育成委員会の主催事業については様々な体験活動や交流活動を子ども達に提供することで、地域における青少年の健全育成にとって不可欠な位置づけとなっています。</p> <p>【青少年善行表彰 表彰延べ数（個人 / 団体）】 H30：280名 / 27団体 R1：243名 / 45団体 R2：82名 / 5団体 青少年善行表彰は、表彰を受けることで青少年が自ら進んで継続的に善行に取り組むきっかけとなり、推薦者や学校関係者から肯定的な意見が寄せられています。</p>
事業の今後（3～5年）の予測と方向性	<p>青少年育成委員会は、地域住民や学校関係者を中心に組織され、ボランティアで活動する任意団体ですが、これまで長年にわたり青少年の健全育成に資する取組を続けてきました。青少年の健全育成にはこうした地域の取組は不可欠であり、今後もこの取組が維持されるよう支援を継続します。</p> <p>すぎなみ舞祭は、青少年の健全育成を主目的としつつ、地域振興の側面も持つ事業です。地域住民や関係団体で組織する実行委員会が主体となり実施できるよう、引き続き必要な支援を行います。</p> <p>青少年善行表彰は、被表彰者自身の励みになるだけでなく、身近な友人や知人が表彰されることで他の青少年の模範となり、善行の機運を高める効果があります。こうした善行の取組を地域に定着させるためにも表彰制度は必要であり、今後も継続していきます。</p>
計画（目標値）に対する実績（指標の分析等）	<p>青少年育成委員会の活動は、新型コロナウイルスの影響で計画していた事業の多くが中止や変更を余儀なくされ、総事業数及び参加者数ともに目標値を下回っています。</p> <p>すぎなみ舞祭や他の共催事業についても同様に、新型コロナウイルスの影響を受け、規模の見直しや事業中止が相次ぎ、目標未達となりました。</p> <p>青少年善行表彰では、例年、推薦の対象となっていた青少年の活動機会が新型コロナウイルスの影響で提供されなかったことが要因となり、表彰件数が目標値の半数以下となっています。</p> <p>いずれも新型コロナウイルスの影響を大きく受けたことによるもので、令和3年度もその影響が続くことが予想されます。</p>
評価と課題	<p>各事業で新型コロナウイルスの影響を大きく受け、目標値を大きく下回っていますが、臨機対応を心掛け、内容の変更や規模の見直し等を行いながら一定数の事業を実施できたことは評価できます。また、青少年育成委員会の活動において課題となっていた事業内容の硬直化は、コロナ禍における事業展開の再考がきっかけとなり、一定の改善が見られました。</p> <p>すぎなみ舞祭は、感染予防策を徹底して実施しましたが、区民の理解が得られる実施方法や規模を見定めることが難しく、他の共催事業も含め、新しい生活様式等を踏まえた開催方法を検討していきます。また、青少年善行表彰においては、一定数の推薦を維持できていますが、善行の機運をより高めることを目的に表彰式の方法を改め、被表彰者が在籍する各校で表彰することとします。</p>

## 令和 4年度の方針（A c t i o n）

予算の方向性（見直しの視点）	I 事業コストの方向性	現状維持
	II 事業の改善の方向性	手段・方法の見直し（改善）
予算の方向性の理由・内容	<p>新型コロナウイルスの影響により一時的に支出額が減少することが予測されますが、青少年の健全育成を目的に活動する団体に対しての助成は、青少年育成委員会の補助金申請書式を見直して事業運営の見える化を推進するなど、より適正で効果的な支援や助成となるよう努めています。今後も助成対象事業や共催事業において、青少年の健全育成という目的達成のために、適正・適切な事業内容や規模となるよう検証しながら、引き続き支援を継続していきます。</p> <p>青少年善行表彰は、コロナ禍においては各種の地域イベントや屋外での活動が減少しているため、善行に値する活動機会そのものが減少していますが、コロナ禍以前では表彰件数が増加傾向にありました。今後も数多くの善行が行われるよう、青少年の機運醸成に効果的な表彰の方法や、表彰式の在り方を検討し、青少年の健全育成に繋がるよう事業を行っていきます。</p>	

# 令和 3年度杉並区事務事業評価表 ( 1 )

( 00241 )

事務事業名称	青少年の自立応援・社会参加事業			款	04	項	02	目	01	事業	006	整理番号	248	
現担当課名	児童青少年課	係名	青少年係	連絡先電話番号	4402			昨年度整理番号	246					
上位施策No・施策名	24 子ども・青少年の育成支援の充実							予算事業区分	既定事業					
事業開始	昭和25年度													
令和 2年度担当課名	児童青少年課							事業評価区分	一般					

## 令和 2年度 事務事業の概要 ( P l a n )

対象	区内在住・在学・在勤の25歳未満の青少年	根拠法令等	( 1 ) ( 2 )	成人祝賀のつどい実施要綱
事業の目的・目標 (対象をどのような状態にしたいのか)	青少年が、社会を構成する主体として自覚を持った成人に成長するよう支援する。	活動指標	指標名 ( 1 ) 指標説明 指標名 ( 2 )	成人祝賀のつどい出席者数  自立支援・社会参画事業実施回数
活動内容 (事務事業の内容、やり方、手段)	○成人の日に成人祝賀のつどいを開催する。 区内在学の高校生を対象に、将来の夢や仕事に関する意識調査を実施する。	指標説明	成果指標	成人祝賀のつどい実施回数 + 高2アンケート実施協力校数
		指標説明	指標名 ( 1 ) 指標説明 指標名 ( 2 ) 指標説明	自立支援・社会参画事業参加人数 成人祝賀のつどい参加者数 + 高2アンケート回答者数 将来の夢や目標を持っている、または持つ必要があると考える区内高校2年生の割合 区内高校2年生に対する将来の夢や仕事に関するアンケートの集計結果

## 指標、総事業費・コスト把握 ( P l a n ・ D o )

区分	単位	平成30年度	令和元年度		令和 2年度		令和 3年度	令和 2年度	令和 2年度
		実績	計画	実績	計画 (目標値)	実績	計画	対計画比 (%)	予算執行率 (%)
活動指標 ( 1 )	1 人	2,097	2,200	2,140	2,200	1,814	2,200	82.5	87.2
活動指標 ( 2 )	2 回	136	21	18	21	20	22	95.2	
成果指標 ( 1 )	3 人	7,363	7,000	6,552	7,000	6,157	7,000	88.0	
成果指標 ( 2 )	4 %	89.8	90	88.4	90	87.2	90	96.9	
事業費	5 千円	8,211	10,230	7,984	15,639	13,641	13,943	特記事項	
(内) 投資的経費等	6 千円	0	0	0	0	0	0	「成人祝賀のつどい」開催に伴う委託内容を見直した結果、当初の見込額より低額での契約となり、執行残が生じました。	
(内) 委託費	7 千円	6,203	7,939	6,268	13,343	11,913	11,875		
職員数	8 人	1.10	1.00	1.26	1.00	1.32	1.40		
上記以外の職員	9 人	0.50	0.40	0.57	0.50	0.80	0.50		
人件費	10 千円	9,269	8,426	10,985	8,718	11,224	11,904		
上記以外の職員	11 千円	1,545	1,236	1,756	1,540	2,902	1,814		
総事業費 (5+10+11)	12 千円	19,025	19,892	20,725	25,897	27,767	27,661		
単位当たりコスト ((12-6)÷1)	13 円	9,072	9,042	9,685	11,771	15,307	12,573		
財源	受益者負担分	14 千円	0	0	0	0	0		
	国からの補助金等	15 千円	0	0	0	0	0		
	都からの補助金等	16 千円	0	0	0	0	0		
	その他の補助金等	17 千円	0	0	0	0	0		
	特定財源計 (14+15+16+17)	18 千円	0	0	0	0	0	0	
差引：一般財源 (12-18)	19 千円	19,025	19,892	20,725	25,897	27,767	27,661		
受益者負担比率 (14÷12)	20 %	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		

# 令和 3年度杉並区事務事業評価表（2）

## 令和 2年度 事業実施状況（D o）

整理番号 248

	内 容	規模	単位	事業費（千円）
主な取組	成人祝賀のつどいの実施運営業務委託	1	回	8,690
	成人祝賀のつどいの美術芸能委託	1	回	3,168
	成人祝賀のつどいの会場賃借料	1	回	1,348
	仕事や将来に関するアンケート（高校2年生対象）の実施	16	校	69
	その他（消耗品の購入、郵送料等）			366
事業実績	<p>毎年、成人の日に杉並公会堂で開催している「成人祝賀のつどい」を、新型コロナウイルス感染症の対策として、密を避けるために例年の2回から4回に回数を増やして開催し、対象者の約4割にあたる1,814名が参加しました。</p> <p>区内の高校19校のうち協力を得られた16校において、高校2年生を対象に将来の夢や仕事に関するアンケートを実施し、4,343名から回答を得ました。</p>			

## 令和 2年度 評価と課題（C h e c k）

事業開始当初から現在までの環境の変化と事業に対する意見（期待・要望・苦情など）	<p>少子高齢化が一層進み、早い段階から若者一人ひとりにかかる社会的責任や期待は大きくなっており、若者への自立支援が必要とされる状況が続いています。コロナ禍における「成人祝賀のつどい」の開催については、クラスター発生を危惧する否定的な意見もありましたが、一生に一度の機会が中止されなかったことや、旧友との再会の場を提供されたことに対する感謝等も多く寄せられました。</p> <p>高校2年生を対象としたアンケートでは、将来の夢や目標を「持っている」または「今は無いが、持つ必要は感じている」と回答する割合は約90%と高い割合で一定しています。一方で、多忙などを理由にアンケートに参加しない学校もあり、全校参加での実施が難しい状況にあります。</p>
事業の今後（3～5年）の予測と方向性	<p>「成人祝賀のつどい」の過去10年間の参加率は40%～50%で推移しており、今後も大きな変動はないものと推測します。また、令和4年度より民法改正による成年年齢の引き下げに合わせて、対象年齢や式典内容など、成人式の意義や在り方を改めて整理し、参加者にとって大人としての責任感や自覚が芽生える催しとなるよう、見直しを行います。</p> <p>若者の自立支援や社会参加を促す取組は今後も不可欠であり、時代に即した改善や方法を取り込みながら推進していきます。</p>
計画（目標値）に対する実績（指標の分析等）	<p>「成人祝賀のつどい」の参加者数は、新型コロナウイルス感染症の影響から例年より若干減っていますが、コロナ対策の徹底とその周知等が功を奏し、大きな減少には至っていません。引き続き、新成人にとって魅力ある催しとなるよう、ニーズに即した形での開催に努めます。</p> <p>高校2年生を対象としたアンケートにおいて、将来の夢や目標を「持っている」または「今は無いが、持つ必要は感じている」と答えた生徒の割合は約90%で推移しています。アンケート結果を参考にしながら、次代を担う若者が目標をより明確に定めていけるように努めます。なお、アンケート実施に際しては、区内19校のうち3校の協力が得られませんでした。全校からの協力を得て、より充実した結果が得られるよう、設問内容や実施時期の見直しも検討を続けます。</p>
評価と課題	<p>「成人祝賀のつどい」は、新型コロナウイルス感染症の流行禍での開催となり、否定的な意見もありましたが、参加者からは喜びや自覚が芽生えたとの声のほか、開催に感謝する声も聞かれました。</p> <p>なお、令和4年の成年年齢引き下げ後も引き続き20歳を対象とした式典を開催することとし、参加者に改めて成人であることの自覚と自立を促すと同時に期待と励ましを伝える「二十歳のつどい」を開催します。</p> <p>高校2年生を対象として実施している「将来の夢と仕事に関するアンケート」は、高校生の率直な意見を聞くことができ、一定の成果を得ていますが、幅広い年齢を対象に5年毎の実施を予定している青少年実態調査との統合も含め、より効果的な調査となるよう抜本的な見直しを行います。</p>

## 令和 4年度の方針（A c t i o n）

予算の方向性（見直しの視点）	I 事業コストの方向性	現状維持
	II 事業の改善の方向性	手段・方法の見直し（改善）
予算の方向性の理由・内容	<p>「成人祝賀のつどい」は、行財政改革推進計画に基づき、引き続き配布物等での広告掲載による歳入確保を図ります。一方で、コロナ対策による実施方法の見直しにより、支出額が増となる可能性もあります。</p> <p>「将来の夢と仕事に関するアンケート」は、5年毎に実施予定の青少年実態調査との統合も含め、実施方法や内容の抜本的な見直しを行います。</p>	

# 令和 3年度杉並区事務事業評価表 ( 1 )

( 00270 )

事務事業名称	学童クラブ事業				款 04 項 02 目 01 事業 034	整理番号	274	
現担当課名	児童青少年課	係名	管理係		連絡先電話番号	4402	昨年度整理番号	272
上位施策No・施策名	24 子ども・青少年の育成支援の充実				予算事業区分	既定事業		
事業開始	昭和39年度	実行計画事業	目標 05	施策 24	計画事業 02	主要事業 ( 区政経営報告書掲載事業 )		
令和 2年度担当課名	児童青少年課				事業評価区分	一般		

## 令和 2年度 事務事業の概要 ( P l a n )

対象	保護者が就労等で昼間留守家庭となる区内在住・在学の小学生	根拠法令等 ( 1 ) ( 2 )	児童福祉法第6条の3第2項 杉並区児童青少年センター及び児童館条例、同施行規則
事業の目的・目標 ( 対象をどのような状態にしたいのか )	家庭、学校、地域等との連携の下、発達段階に応じた主体的な遊びや生活が可能となるよう、児童の自主性、社会性及び創造性の向上、基本的な生活習慣の確立等を図るなど、児童の健全育成支援を目的とする。	活動指標 指標名 ( 1 ) 指標説明 指標名 ( 2 )	学童クラブ数 受入可能枠 4月時点の受入可能枠
活動内容 ( 事務事業の内容、やり方、手段 )	児童一人ひとりが尊重され、安心して安全に、楽しく過ごせる放課後等の集団生活の場を提供する。 児童の受入時間 平日 下校時から午後6時まで ( 延長利用は午後7時まで、学校休校日は午前8時から受入 ) 土曜日 午前8時30分から午後5時まで 休業日 日曜、休日、年末年始	指標説明 成果指標 指標名 ( 1 ) 指標説明 指標名 ( 2 ) 指標説明	入会児童数 4月時点の入会児童数 待機児童数 翌年4月時点の待機児童数

## 指標、総事業費・コスト把握 ( P l a n ・ D o )

区分	単位	平成30年度	令和元年度		令和 2年度		令和 3年度	令和 2年度	令和 2年度	
		実績	計画	実績	計画 ( 目標値 )	実績	計画	対計画比 (%)	予算執行率 (%)	
活動指標 ( 1 )	1 か所	48	47	47	45	45	48	100.0	98.1	
活動指標 ( 2 )	2 人	4,669	4,930	4,930	5,316	5,316	5,557	100.0		
成果指標 ( 1 )	3 人	4,324	5,033	4,604	5,163	4,851	5,178	94.0		
成果指標 ( 2 )	4 人	228	0	242	0	233	0	0.0		
事業費	5 千円	477,834	617,007	594,776	856,378	840,341	1,065,026	特記事項		
( 内 ) 投資的経費等	6 千円	0	0	0	0	0	0			
( 内 ) 委託費	7 千円	444,398	576,415	561,735	816,321	808,021	1,028,445			
職員数	常勤職員数 ( 再任用含 )	8 人	89.61	85.40	96.60	80.60	86.10	79.90		
	上記以外の職員	9 人	31.00	29.70	31.00	25.10	26.00	29.00		
人件費	常勤職員分 ( 再任用含 )	10 千円	739,086	706,008	825,279	688,323	714,133	663,572		
	上記以外の職員	11 千円	95,759	91,743	95,480	77,308	94,328	105,212		
総事業費 ( 5+10+11 )	12 千円	1,312,679	1,414,758	1,515,535	1,622,009	1,648,802	1,833,810			
単位当たりコスト ( ( 12-6 ) ÷ 1 )	13 円	27,347,479	30,101,234	32,245,426	36,044,644	36,640,044	38,204,375			
財源	受益者負担分	14 千円	184,061	208,819	206,322	218,209	172,915	230,476		
	国からの補助金等	15 千円	174,311	176,439	193,548	202,998	228,588	231,821		
	都からの補助金等	16 千円	174,311	176,439	193,548	202,998	226,018	229,789		
	その他の補助金等	17 千円	0	0	0	0	0	0		
	特定財源計 ( 14+15+16+17 )	18 千円	532,683	561,697	593,418	624,205	627,521	692,086		
差引：一般財源 ( 12-18 )	19 千円	779,996	853,061	922,117	997,804	1,021,281	1,141,724			
受益者負担比率 ( 14 ÷ 12 )	20 %	14.0	14.8	13.6	13.5	10.5	12.6			

# 令和 3年度杉並区事務事業評価表 ( 2 )

## 令和 2年度 事業実施状況 ( D o )

整理番号 274

主な取組	内 容	規模	単位	事業費 ( 千円 )
	学童クラブ運営業務委託		16	所
	民間学童クラブ運営費助成	2	所	22,202
	おやつ代助成	415	人	7,425
	その他 ( 事務費ほか )			6,143
事業実績	<p>区立学童クラブ ( 直営29クラブ、委託16クラブ ) の運営のほか、民間学童クラブへの運営費補助や学童クラブを利用している就学援助受給世帯等へのおやつ代の助成を実施しました。</p> <p>令和3年4月から新たに4学童クラブ ( 西田、杉三、沓掛、永福南 ) の運営を委託するため、事業者の公募・選定や引継ぎ等の準備を進めました。</p>			

## 令和 2年度 評価と課題 ( C h e c k )

事業開始当初から現在までの環境の変化と事業に対する意見 ( 期待・要望・苦情など )	<p>共働き家庭の増加や核家族化の進展等による保育需要の高まりに運動し、学童クラブ需要も年々増加しています。入会児童数は、この10年間で約1.6倍となり、約1,800人増加しています。</p> <p>【入会児童数】 平成23年4月：3,178人 平成31年4月：4,604人 令和2年4月：4,851人 令和3年4月：4,983人</p> <p>【待機児童数】 平成23年4月：52人 平成31年4月：228人 令和2年4月：242人 令和3年4月：233人</p> <p>「学年が上がると学童クラブに入れなくなることがある。希望する者は、必ず入会できるようにしてほしい」等の意見が寄せられています。</p>
事業の今後 ( 3~5年 ) の予測と方向性	<p>当面は保育需要に運動して、学童クラブ需要も増加していくと予測されるため、各学童クラブの状況等に応じた受入枠の拡大等を図る必要があります。</p> <p>今後も、児童館再編の取組 ( 学童クラブの学校内等への移設による受入枠の拡大 ) を進めていきます。</p>
計画 ( 目標値 ) に対する実績 ( 指標の分析等 )	<p>待機児童を解消するため、小学校内への第二学童クラブの整備や施設の改修等により、241名の受入枠の拡大を図りましたが、全体として233名の待機児童が発生しました。</p>
評価と課題	<p>増加する学童クラブ需要に対応するため、4所の学童クラブにおいて小学校内への整備や、児童館施設が小学校に近接する場合は学童クラブ専用館化を進め、241名の受入枠を拡大したことにより、当該4学童クラブでは待機児童の解消を図ることができました。しかし、学童クラブは児童の自力通所であることから、広域的な入会調整が難しく、局所的に待機児童が発生し、全体として待機児童の解消には至りませんでした。すべての地域において待機児童解消を果たせるよう児童館再編の取組を急ぐ必要がありますが、学童クラブの学校内等への移設や子ども・子育てプラザの整備を直ちに行えない地域もあり、児童館再編によらない取組についても検討する必要があります。</p>

## 令和 4年度の方針 ( A c t i o n )

予算の方向性 ( 見直しの視点 )	I 事業コストの方向性	拡充
	II 事業の改善の方向性	手段・方法の見直し ( 改善 ) ・実施主体の見直し
予算の方向性の理由・内容	<p>小学校内及び小学校に近接する施設に移転・整備する西荻北、善福寺学童クラブの委託により職員人件費の削減が図られる一方、桃井、和泉学園、井草の第二学童クラブの新設に伴い学童クラブ委託料が増加するため、全体の事業費は拡充となります。</p>	

# 令和 3年度杉並区事務事業評価表 ( 1 )

( 00271 )

事務事業名称	児童健全育成事業			款 04 項 02 目 01 事業 035	整理番号	275	
現担当課名	児童青少年課	係名	児童館運営係 事業係	連絡先電話番号	4402	昨年度整理番号	273
上位施策No・施策名	24 子ども・青少年の育成支援の充実			予算事業区分	既定事業		
事業開始	昭和41年度	実行計画事業	目標 05 施策 24 計画事業 03	主要事業 ( 区政経営報告書掲載事業 )			
令和 2年度担当課名	児童青少年課			事業評価区分	一般		

## 令和 2年度 事務事業の概要 ( P l a n )

対象	18歳未満の児童及び保護者、児童の健全育成支援の活動を行う団体・個人等	根拠法令等 ( 1 ) 児童福祉法第35条、同法第40条 ( 2 ) 杉並区立児童青少年センター及び児童館条例、同施行規則等
事業の目的・目標 ( 対象をどのような状態にしたいのか )	児童青少年センター、児童館及び子ども・子育てプラザにおける事業の充実を図り、児童の自主性、社会性、創造性等を培い、その健やかな成長を支援する。	活動指標 指標名 ( 1 ) センター及び児童館数 指標説明 指標名 ( 2 ) 子ども・子育てプラザ数 指標説明
活動内容 ( 事務事業の内容、やり方、手段 )	児童館の自由利用のほか、定例活動 ( 工作、調理等 ) や、特別行事 ( スポーツ大会・遠足・講演会・祭り・キャンプ等 ) 等を実施する。 児童青少年センターの自由利用のほか、各種事業 ( 職員企画、中高校生企画、中高校生運営委員会企画事業等 ) を実施する。 ○子ども・子育てプラザでの子育てに関する各種講座や遊びのプログラムの実施、各種サービスの情報提供と利用相談を実施する。 放課後等居場所事業を実施する。	成果指標 指標名 ( 1 ) 年間延べ利用者数 ( センター、児童館及び放課後等居場所事業 ) 指標説明 指標名 ( 2 ) 年間延べ利用者数 ( 子ども・子育てプラザ ) 指標説明

## 指標、総事業費・コスト把握 ( P l a n ・ D o )

区分	単位	平成30年度	令和元年度		令和 2年度		令和 3年度	令和 2年度	令和 2年度	
		実績	計画	実績	計画 ( 目標値 )	実績	計画	対計画比 (%)	予算執行率 (%)	
活動指標 ( 1 )	1 館	39	38	38	33	33	30	100.0	94.8	
活動指標 ( 2 )	2 館	3	4	4	5	5	5	100.0		
成果指標 ( 1 )	3 人	1,577,722	1,600,000	1,419,118	1,600,000	656,628	719,000	41.0		
成果指標 ( 2 )	4 人	157,317	207,000	203,039	172,000	117,351	144,000	68.2		
事業費	5 千円	135,330	189,809	181,084	219,155	207,659	255,796	特記事項		
( 内 ) 投資的経費等	6 千円	0	0	0	0	0	0			
( 内 ) 委託費	7 千円	30,801	75,704	73,693	162,644	161,452	216,285			
職員数	常勤職員数 ( 再任用含 )	8 人	127.00	119.50	122.50	111.10	116.50	106.80		
	上記以外の職員	9 人	67.00	63.30	62.00	41.00	49.00	54.70		
人件費	常勤職員分 ( 再任用含 )	10 千円	1,014,214	959,801	1,019,425	897,673	933,080	856,712		
	上記以外の職員	11 千円	206,963	195,534	190,960	126,280	177,772	198,452		
総事業費 ( 5+10+11 )	12 千円	1,356,507	1,345,144	1,391,469	1,243,108	1,318,511	1,310,960			
単位当たりコスト ( ( 12-6 ) ÷ 1 )	13 円	34,782,231	35,398,526	36,617,605	37,669,939	39,954,879	43,698,667			
財源	受益者負担分	14 千円	0	0	0	0	0	0		
	国からの補助金等	15 千円	0	0	0	0	0	0		
	都からの補助金等	16 千円	9,150	18,689	14,786	29,664	30,708	26,200		
	その他の補助金等	17 千円	0	0	0	0	0	0		
	特定財源計 ( 14+15+16+17 )	18 千円	9,150	18,689	14,786	29,664	30,708	26,200		
差引：一般財源 ( 12-18 )	19 千円	1,347,357	1,326,455	1,376,683	1,213,444	1,287,803	1,284,760			
受益者負担比率 ( 14 ÷ 12 )	20 %	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0			

# 令和 3年度杉並区事務事業評価表（2）

## 令和 2年度 事業実施状況（D o）

整理番号 275

	内 容	規模	単位	事業費（千円）
主な取組	児童青少年センター事業	1	館	1,856
	児童館、子ども・子育てプラザ事業	37	館	7,461
	児童館中・高生事業	37	館	198
	放課後等居場所事業	9	校	163,877
	その他（管理運営費等）			34,267
事業実績	<p>引き続き、児童青少年センター、児童館及び子ども・子育てプラザにおける児童健全育成事業を実施するとともに、区立施設再編整備計画に基づき、児童館機能の継承・発展を図るため、新たに高円寺中央児童館を転換して子ども・子育てプラザ高円寺の新規開設（令和2年9月）を行いました。また、令和2年4月から、小学生の放課後等の居場所として、新たに浜田山小学校、杉並第九小学校、高円寺学園、大宮小学校、済美小学校で放課後等居場所事業を開始しました。</p>			

## 令和 2年度 評価と課題（C h e c k）

事業開始当初から現在までの環境の変化と事業に対する意見（期待・要望・苦情など）	<p>近年、児童館では、乳幼児親子と小学生の学童クラブ利用が大幅に伸びる一方、中・高校生の利用は減少傾向にあるなど、利用状況が変化してきています。限られたスペースの中で、幅広い年齢層のニーズを満たす事業・サービスを展開していくことが難しくなっています。</p> <p>事業に対しては、「子ども・子育てプラザは乳幼児を連れて気軽にゆっくり過ごすことができる」、「放課後等居場所事業は、帰宅せずにそのまま放課後を過ごせるので子どもが移動するときの心配がなくなり、安心して遊びに出せる」などの声が寄せられる一方、「様々な年齢層の子どもや多世代が交流できる機会が増えるとよい」などの声が寄せられています。</p>
事業の今後（3～5年）の予測と方向性	<p>区内7地域に2所ずつ（計14所）整備する予定の子ども・子育てプラザについて、未整備地域や2所目の整備を計画的に進めていきます。小学生の放課後等の居場所の充実・発展に向け、小学校内における放課後等居場所事業の実施校数の拡大に取り組みます。また、コミュニティふらっと永福での利用状況を踏まえ、令和7年度に開設予定の杉並第八小学校跡地を活用した地域コミュニティ施設において、中・高校生が日常的に気軽に集い、多世代との交流の場となる居場所づくりの準備を進めます。</p>
計画（目標値）に対する実績（指標の分析等）	<p>新型コロナウイルスの感染予防及び感染拡大防止の観点から、児童青少年センター、児童館及び子ども・子育てプラザは、臨時休館や利用制限を行いながらの施設運営となりました。そのため、年間延べ利用者数は計画（目標値）に達しませんでした。</p>
評価と課題	<p>子どもの居場所の充実を図るため推進している児童館再編の取組は、現状では3分の1程度の地域における実施にとどまっています。</p> <p>未実施の地域においては、従前の児童館の取組を継続しつつ、育成支援の充実に努めていますが、可能な限り早期に区内全域に児童館再編の取組を広げていく必要があります。</p> <p>区立施設再編整備計画の中で、子ども・子育てプラザの整備地をどのように確保していくか等が大きな課題となります。</p>

## 令和 4年度の方針（A c t i o n）

予算の方向性（見直しの視点）	I 事業コストの方向性	拡充
	II 事業の改善の方向性	手段・方法の見直し（改善）
予算の方向性の理由・内容	<p>区立施設再編整備計画に基づき、放課後等居場所事業を新たに2小学校（桃井第三小学校、井荻小学校）で実施します。</p> <p>児童館再編による職員人件費の削減が図られる一方、放課後等居場所事業の実施に係る経費（委託費）が増加する等のため、全体の事業費は拡充となります。</p>	

# 令和 3年度杉並区事務事業評価表 ( 1 )

( 00273 )

事務事業名称	子ども国内交流事業			款	04	項	02	目	01	事業	037	整理番号	277
現担当課名	児童青少年課		係名	事業係			連絡先電話番号	4402		昨年度整理番号	275		
上位施策No・施策名	24 子ども・青少年の育成支援の充実							予算事業区分	既定事業				
事業開始	平成 2年度												
令和 2年度担当課名	児童青少年課							事業評価区分	一般				

## 令和 2年度 事務事業の概要 ( P l a n )

対象	区内在住の小学生 ( 4 ~ 6年生 )	根拠法令等	( 1 ) 杉並区立児童青少年センター及び児童館事業運営要綱 ( 2 ) 杉並区都市交流実施要綱
事業の目的・目標 ( 対象をどのような状態にしたいのか )	友好都市の子どもとの交流を通して、児童の健全育成を図る。	活動指標	交流自治体数
活動内容 ( 事務事業の内容、やり方、手段 )	名寄市との交流会を開催する。 東吾妻町との交流会を開催する。	指標名 ( 1 ) 指標説明 指標名 ( 2 ) 指標説明	
		成果指標	参加者数
		指標名 ( 1 ) 指標説明 指標名 ( 2 ) 指標説明	

## 指標、総事業費・コスト把握 ( P l a n ・ D o )

区分	単位	平成30年度	令和元年度		令和 2年度		令和 3年度	令和 2年度	令和 2年度	
		実績	計画	実績	計画 ( 目標値 )	実績	計画	対計画比 (%)	予算執行率 (%)	
活動指標 ( 1 )	1 自治体	2	2	2	2	0	2	0.0		
活動指標 ( 2 )	2									
成果指標 ( 1 )	3 人	50	50	50	50	0	50	0.0		
成果指標 ( 2 )	4									
事業費	5 千円	6,076	7,344	5,971	0	0	6,643	特記事項 新型コロナウイルス感染症の感染予防及び感染拡大防止のため、子ども国内交流事業を中止しました。		
( 内 ) 投資的経費等	6 千円	0	0	0	0	0	0			
( 内 ) 委託費	7 千円	2,008	2,011	1,934	0	0	1,996			
職員数	8 人	1.10	1.00	1.10	1.00	0.10	1.00			
上記以外の職員	9 人	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00			
人件費	10 千円	9,269	8,426	9,590	8,718	850	8,503			
上記以外の職員	11 千円	0	0	0	0	0	0			
総事業費 ( 5+10+11 )	12 千円	15,345	15,770	15,561	8,718	850	15,146			
単位当たりコスト ( ( 12-6 ) ÷ 1 )	13 円	7,672,500	7,885,000	7,780,500	4,359,000	0	7,573,000			
財源	受益者負担分	14 千円	0	0	0	0	0			0
	国からの補助金等	15 千円	0	0	0	0	0			0
	都からの補助金等	16 千円	0	0	0	0	0	0		
	その他の補助金等	17 千円	2,614	3,605	2,684	0	0	0		
	特定財源計 ( 14+15+16+17 )	18 千円	2,614	3,605	2,684	0	0	0		
差引：一般財源 ( 12-18 )	19 千円	12,731	12,165	12,877	8,718	850	15,146			
受益者負担比率 ( 14 ÷ 12 )	20 %	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0			

# 令和 3年度杉並区事務事業評価表（2）

## 令和 2年度 事業実施状況（D o）

整理番号 277

主な取組	内 容	規模	単位	事業費（千円）
	杉並区・名寄市子ども交流会の開催		0	回
	杉並区・東吾妻町子ども交流会の開催	0	回	0
	その他（ ）			

事業実績  
新型コロナウイルス感染症の感染予防及び感染拡大防止のため、子ども国内交流事業を中止しました。

## 令和 2年度 評価と課題（C h e c k）

事業開始当初から現在までの環境の変化と事業に対する意見（期待・要望・苦情など）	当初は、参加費（交通実費等）を徴収して実施していましたが、より参加しやすい環境を整えるため、平成24年度からは次世代育成基金活用事業として、参加費を徴収せずに実施しています。また、多くの児童の参加の機会を保障するため、一度参加した児童は、再び参加できないこととしています。 参加児童からは「貴重な体験ができた」、「友人が増えた」、「東京との違いを感じることができた」等の感想がありました。保護者からは、「短期間にも関わらず子どもの成長が感じられた」、「このような体験機会を増やしてほしい」等の意見が寄せられています。
事業の今後（3～5年）の予測と方向性	杉並区と交流自治体の子どもたちが、相互の地域を訪れ、さまざまな体験や交流を行う活動として、大変貴重な機会の一つになっている事業であり、今後も交流自治体と連携し、本事業を継続していきます。しかし、新型コロナウイルスの感染拡大の影響を受け、安全・安心に事業を実施できる見通しที่ไม่透明な状況です。
計画（目標値）に対する実績（指標の分析等）	令和2年度は、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、事業を中止しました。
評価と課題	本事業は、杉並区と交流自治体の子どもたちが、一度の交流会で両方の自治体に訪問する形で実施しており、子どもたちは、子ども同士の交流だけでなく、お互いの文化や自然等にも直接触れることができ、将来にわたる友好関係の礎になっています。 一方で、交流会の日数を確保するため、夏休み期間に実施が限られ、近年の猛暑への適切な対応が課題となっているほか、新型コロナウイルスの感染拡大の影響を受け、事業の安全・安心な実施が困難な状況となっています。 なお、令和3年度の実施についても、交流自治体と協議の結果、中止としました。

## 令和 4年度の方針（A c t i o n）

予算の方向性（見直しの視点）	I 事業コストの方向性	現状維持
	II 事業の改善の方向性	手段・方法の見直し（改善）
予算の方向性の理由・内容	令和4年度においても、現在の交流会の実施方法を基本とし、事業を実施していきます。新型コロナウイルス感染症の状況等によっては、事業の実施方法等を見直す必要があります。	

# 令和 3年度杉並区事務事業評価表 ( 1 )

( 00282 )

事務事業名称	次世代育成基金の運営				款 04	項 02	目 01	事業 050	整理番号	282
現担当課名	児童青少年課	係名	青少年係			連絡先電話番号	4402		昨年度整理番号	281
上位施策No・施策名	24 子ども・青少年の育成支援の充実						予算事業区分	既定事業		
事業開始	平成24年度	実行計画事業	目標 05	施策 24	計画事業 01					
令和 2年度担当課名	児童青少年課						事業評価区分	一般		

## 令和 2年度 事務事業の概要 ( P l a n )

対象	区内の小・中・高校生、支援する大人	根拠法令等	( 1 ) 杉並区次世代育成基金条例 ( 2 ) 杉並区次世代育成基金推進会議設置要綱
事業の目的・目標 (対象をどのような状態にしたいのか)	子どもたちが、国内外の文化・芸術・自然に触れ、またはスポーツ交流に参加する機会を創出するため、基金を運営する。 基金への理解・賛同を得られるよう周知し、募金の呼びかけを図る。	活動指標	基金活用事業件数
		指標名 ( 1 )	区主催と民間提案事業助成による基金活用事業件数
		指標説明	基金活用事業参加者募集 (定員) 数
		指標名 ( 2 )	
		指標説明	
活動内容 (事務事業の内容、やり方、手段)	区内の小・中・高校生を対象とした国内外の体験交流事業等の実施に対し、子どもの参加に係る経費の2分の1を基金から充当する。 基金の趣旨を広く区民に周知し、寄附を募る。 各種イベント会場等で募金活動を実施する。	成果指標	基金活用事業参加児童・生徒数
		指標名 ( 1 )	派遣型事業は参加実人数、講座型事業は参加延べ人数
		指標説明	寄附者件数
		指標名 ( 2 )	
		指標説明	

## 指標、総事業費・コスト把握 ( P l a n ・ D o )

区分	単位	平成30年度	令和元年度		令和 2年度		令和 3年度	令和 2年度	令和 2年度	
		実績	計画	実績	計画 (目標値)	実績	計画	対計画比 (%)	予算執行率 (%)	
活動指標 ( 1 )	1 件	11	14	13	4	4	11	100.0	86.0	
活動指標 ( 2 )	2 人	733	774	742	205	179	439	87.3		
成果指標 ( 1 )	3 人	749	774	690	205	163	439	79.5		
成果指標 ( 2 )	4 件	1,829	1,500	1,733	1,500	321	1,800	21.4		
事業費	5 千円	22,072	31,392	25,955	12,063	10,378	20,384	特記事項		
(内) 投資的経費等	6 千円	0	0	0	0	0	0	令和2年度は新型コロナウイルス感染症の影響により、民間提案事業への基金を活用した助成は行いませんでした。同様に区主催の基金活用事業も実施数が減少しています。		
(内) 委託費	7 千円	179	272	215	166	137	163			
職員数	常勤職員数 (再任用含)	8 人	0.38	0.80	0.33	1.00	0.82	1.00		
	上記以外の職員	9 人	0.66	0.70	0.76	0.40	1.00	1.00		
人件費	常勤職員分 (再任用含)	10 千円	3,202	6,741	2,877	8,718	6,972	8,503		
	上記以外の職員	11 千円	2,039	2,162	2,341	1,232	3,628	3,628		
総事業費 (5+10+11)	12 千円	27,313	40,295	31,173	22,013	20,978	32,515			
単位当たりコスト ((12-6)÷1)	13 円	2,483,000	2,878,214	2,397,923	5,503,250	5,244,500	2,955,909			
財源	受益者負担分	14 千円	0	0	0	0	0	0		
	国からの補助金等	15 千円	0	0	0	0	0	0		
	都からの補助金等	16 千円	0	0	0	0	0	0		
	その他の補助金等	17 千円	16,898	0	0	0	0	0		
	特定財源計 (14+15+16+17)	18 千円	16,898	0	0	0	0	0		
差引：一般財源 (12-18)	19 千円	10,415	40,295	31,173	22,013	20,978	32,515			
受益者負担比率 (14÷12)	20 %	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0			

# 令和 3年度杉並区事務事業評価表 ( 2 )

## 令和 2年度 事業実施状況 ( D o )

整理番号 282

	内 容	規模	単位	事業費 ( 千円 )
主な取組	基金の積立	1	回	9,362
	次世代育成基金リーフレット等の作成	36,000	部	470
	次世代育成基金活用事業実施報告書の作成	1,500	部	238
	パナースタンドの購入	2	台	72
	その他 ( 啓発用消耗品の購入 ほか )			236
事業実績	<p>区主催事業は8事業の実施を予定していましたが、新型コロナウイルスに伴う緊急事態宣言の発出や、感染拡大防止を理由に4事業の実施に留まりましたが、163名の児童・生徒が参加しました。また、民間提案事業に対する基金を活用した事業助成制度には7件の申請がありましたが、新型コロナウイルスの影響から安定した事業実施が難しいと判断し、採択しないこととしました。</p> <p>寄附者の裾野を広げることを目的に、区広報紙への掲載やリーフレットの配布のほか、新たに区役所1階のデジタルサイネージでPRを行い、321件 / 8,330,158円のご寄附をいただきました。</p>			

## 令和 2年度 評価と課題 ( C h e c k )

事業開始当初から現在までの環境の変化と事業に対する意見 ( 期待・要望・苦情など )	<p>【平成24年度】基金開設 【平成27年度】次世代育成基金活用事業助成を開始</p> <p>【寄附件数 / 寄附額】 H24 ~ R2年度までの総数 : 7,309件 / 133,960,460円</p> <p>【H30】 1,829件 / 13,625,432円 【R1】 1,733件 / 18,308,775円 【R2】 321件 / 8,330,158円</p> <p>【助成事業参加者数 / 延べ事業数 ( H27 ~ R2 ) 】 2,252人 / 20件 ( R2はコロナのため0件 )</p> <p>基金活用事業の参加者からは「違う学校の友達ができて良かった」「寄附のおかげで普段の学校では学べない体験ができた」など、肯定的な意見と寄附者への感謝の言葉が届いています。また、寄附者からは「将来まで記憶に残るような体験をしてほしい」「これからの世代に少しでも還元できることが嬉しい」などの声が寄せられています。</p>
事業の今後 ( 3 ~ 5年 ) の予測と方向性	<p>新型コロナウイルスの影響により、暫くは計画通りの事業実施が難しくなることが予想されますが区内での次世代育成基金の認知度が上がり、基金活用事業に参加を希望する児童・生徒の数は今後も増加すると見込まれます。</p> <p>また、区広報紙やホームページのほかにも、区内の様々なイベント会場などでも次世代育成基金のPRを続け、多世代に渡る周知を行うことで寄附者の裾野が広がり、区内における寄附文化の醸成が進みます。</p>
計画 ( 目標値 ) に対する実績 ( 指標の分析等 )	<p>新型コロナウイルスの影響が大きく、民間提案事業が未実施となるなど、事業実施数が例年と比較して少なくなっているため、成果指標の目標値である基金活用事業に参加する児童・生徒数は少なくなり、目標値を下回っています。しかし、各事業の実施時に参加申込者が定員以下となることはほとんどなく、基金を活用した事業の認知度は高く安定しています。</p> <p>寄附者数については、イベント開催時等の募金活動が実施できなかったことから目標値を下回っています。</p>
評価と課題	<p>コロナ禍であっても、基金活用事業への参加希望者や本基金への寄附件数は一定の水準で維持されていることから、事業参加者、基金への寄附者ともに基金の趣旨に対する理解が深まっているものと評価できます。</p> <p>一方で、基金活用事業を継続するためには一定額の基金を維持する必要があります。今後も1人でも多くの方に基金の趣旨をご理解いただき、末永くご支援をいただける仕組の構築と、様々な場面や手段でPRを行うことで寄附者の裾野を広げ、これまで以上に寄附文化を醸成できるよう、寄附勸奨の取組を継続していきます。</p>

## 令和 4年度の方針 ( A c t i o n )

予算の方向性 ( 見直しの視点 )	I 事業コストの方向性	現状維持
	II 事業の改善の方向性	手段・方法の見直し ( 改善 )
予算の方向性の理由・内容	<p>基金活用事業の実施に合わせた周知活動のほか、全庁的に募金機会を募るなど、効率的・効果的な周知活動と寄附勸奨の取組に努めることとし、事業コストについては現状維持を見込んでいます。</p>	

# 令和 3年度杉並区事務事業評価表 ( 1 )

( 00686 )

事務事業名称	子どもプレーパーク事業			款	04	項	02	目	01	事業	063	整理番号	290
現担当課名	児童青少年課		係名	管理係			連絡先電話番号	4402		昨年度整理番号	289		
上位施策No・施策名	24 子ども・青少年の育成支援の充実							予算事業区分	既定事業				
事業開始	平成27年度												
令和 2年度担当課名	児童青少年課							事業評価区分	一般				

## 令和 2年度 事務事業の概要 ( P l a n )

対象 児童	根拠法令等 ( 1 ) ( 2 )	杉並区子どもプレーパーク事業実施要綱
事業の目的・目標 (対象をどのような状態にしたいのか) 自由な遊びの場を提供し、火おこしや水遊び、木登りなどの体験を通じて、子どもたちの自主性や社会性、創造力を育み、地域社会の中で健やかな成長を推進する。	活動指標 指標名 ( 1 ) 指標説明 指標名 ( 2 )	プレーパーク実施回数
活動内容 (事務事業の内容、やり方、手段) 自由な遊びの場を提供する。 火おこし、水遊び、木登り、工作等の子どもの活動・遊びを支援する。 地域住民の交流活動等の場を提供する。	指標説明 成果指標 指標名 ( 1 ) 指標説明 指標名 ( 2 ) 指標説明	プレーパーク参加者数

## 指標、総事業費・コスト把握 ( P l a n ・ D o )

区分	単位	平成30年度	令和元年度		令和 2年度		令和 3年度	令和 2年度	令和 2年度	
		実績	計画	実績	計画 (目標値)	実績	計画	対計画比 (%)	予算執行率 (%)	
活動指標 ( 1 )	1 回	61	64	63	65	53	71	81.5	100.0	
活動指標 ( 2 )	2									
成果指標 ( 1 )	3 人	11,716	11,000	10,499	11,000	12,119	12,000	110.2		
成果指標 ( 2 )	4									
事業費	5 千円	5,830	5,914	5,879	6,073	6,070	6,056	特記事項		
(内) 投資的経費等	6 千円	0	0	0	0	0	0			
(内) 委託費	7 千円	5,830	5,884	5,879	6,043	6,043	6,056			
職員数	常勤職員数 (再任用含)	8 人	0.20	0.20	0.20	0.20	0.20	0.20		
	上記以外の職員	9 人	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		
人件費	常勤職員分 (再任用含)	10 千円	1,685	1,685	1,744	1,744	1,701	1,701		
	上記以外の職員	11 千円	0	0	0	0	0	0		
総事業費 (5+10+11)	12 千円	7,515	7,599	7,623	7,817	7,771	7,757			
単位当たりコスト ((12-6)÷1)	13 円	123,197	118,734	121,000	120,262	146,623	109,254			
財源	受益者負担分	14 千円	0	0	0	0	0	0		
	国からの補助金等	15 千円	0	0	0	0	0	0		
	都からの補助金等	16 千円	2,915	0	2,940	0	0	0		
	その他の補助金等	17 千円	0	0	0	0	0	0		
	特定財源計 (14+15+16+17)	18 千円	2,915	0	2,940	0	0	0		
差引：一般財源 (12-18)	19 千円	4,600	7,599	4,683	7,817	7,771	7,757			
受益者負担比率 (14÷12)	20 %	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0			

# 令和 3年度杉並区事務事業評価表（2）

## 令和 2年度 事業実施状況（D o）

整理番号 290

主な取組	内 容	規模	単位	事業費（千円）
	子どもプレーパーク事業委託費の支出		1	団体
	その他（消耗品）			27

事業実績

平成30年度から委託事業として実施し、区立公園を会場としたプレーパーク「杉並冒険遊び場」を開催（柏の宮公園26回、5,103人参加、井草森公園22回、5,818人参加、その他の公園5回、1,198人参加）しました。前年度と比較し、参加者は天候の影響もあり、延べ1,620人増えました。

## 令和 2年度 評価と課題（C h e c k）

事業開始当初から現在までの環境の変化と事業に対する意見（期待・要望・苦情など）	区とNPO法人との協働提案事業として平成27年7月から事業を開始し、平成30年度からは区の委託事業として継続しています。令和2年度までに、延べ328回、56,755名の参加者がありました。 【実施回数及び参加者】 平成30年度：61回、11,716人 令和元年度：63回、10,499人 令和2年度：53回、12,119人 参加した児童の関係者からは「普段の公園の利用の中では得られない貴重な体験の場になった」、「実施会場や開催日を増やして欲しい」といった意見が寄せられています。
事業の今後（3～5年）の予測と方向性	参加人数や実施回数は天候等の要因により変動はありますが、子どもたちの健全な育成に一定の効果が期待されることから、今後も継続して実施していきます。
計画（目標値）に対する実績（指標の分析等）	令和2年度は新型コロナウイルス感染症の影響により、天候に恵まれない回については屋内等での実施が困難であったため、中止にせざるを得ない状況が多々ありました。しかし、1回の実施に参加する参加人数が多かったことから、年間の参加者数が増加しました。
評価と課題	子どもを屋外で安全に遊ばせることの区民ニーズは高いものの、天候に左右されるため、安定して事業を開催するための工夫が必要です。特に新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、より安全な場所や遊び方の工夫が求められています。

## 令和 4年度の方針（A c t i o n）

予算の方向性（見直しの視点）	I 事業コストの方向性	現状維持
	II 事業の改善の方向性	手段・方法の見直し（改善）
予算の方向性の理由・内容	引き続き利用者の満足が得られるよう、実施場所や回数を見直すほか、新型コロナウイルス感染症対策に留意し、より安全な事業実施に向けて工夫していきます。	

# 令和 3年度杉並区事務事業評価表 ( 1 )

( 00305 )

事務事業名称	学童クラブの整備			款	04	項	02	目	03	事業	021	整理番号	310
現担当課名	児童青少年課		係名	管理係			連絡先電話番号	4402		昨年度整理番号	305		
上位施策No・施策名	24 子ども・青少年の育成支援の充実							予算事業区分	投資事業				
事業開始	平成24年度	実行計画事業	目標	05	施策	24	計画事業	02	主要事業 ( 区政経営報告書掲載事業 )				
令和 2年度担当課名	児童青少年課							事業評価区分	一般				

## 令和 2年度 事務事業の概要 ( P l a n )

対象 施設管理	根拠法令等 ( 1 ) ( 2 )	児童福祉法第6条の3第2項 杉並区立児童青少年センター及び児童館条例、同施行規則
事業の目的・目標 ( 対象をどのような状態にしたいのか ) 学童クラブの入会需要の増加に対応するため、小学校の余裕教室の利用や、児童館の一部諸室を育成室等へ転用する等の取組により、学童クラブ受入枠拡大を図る。	活動指標 指標名 ( 1 ) 指標説明 指標名 ( 2 )	改修実施児童館 ( クラブ ) 数
活動内容 ( 事務事業の内容、やり方、手段 ) 小学校の余裕教室や、児童館の一部諸室を育成室等へ転用する改修等を行う。	指標説明 成果指標 指標名 ( 1 ) 指標説明 指標名 ( 2 ) 指標説明	児童館 ( クラブ ) 改修等による受入枠の拡大数

## 指標、総事業費・コスト把握 ( P l a n ・ D o )

区分	単位	平成30年度	令和元年度		令和 2年度		令和 3年度	令和 2年度	令和 2年度	
		実績	計画	実績	計画 ( 目標値 )	実績	計画	対計画比 (%)	予算執行率 (%)	
活動指標 ( 1 )	1 所	3	2	6	4	4	5	100.0	94.0	
活動指標 ( 2 )	2									
成果指標 ( 1 )	3 人	166	99	306	241	241	274	100.0		
成果指標 ( 2 )	4									
事業費	5 千円	226,137	40,846	39,731	110,806	104,136	350,837	特記事項		
( 内 ) 投資的経費等	6 千円	216,579	40,846	39,731	104,055	97,814	327,822			
( 内 ) 委託費	7 千円	222,183	36,031	34,922	106,106	99,669	343,392			
職員数	常勤職員数 ( 再任用含 )	8 人	0.10	0.30	0.50	0.40	0.60	0.30		
	上記以外の職員	9 人	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		
人件費	常勤職員分 ( 再任用含 )	10 千円	843	2,528	4,359	3,487	5,102	2,551		
	上記以外の職員	11 千円	0	0	0	0	0	0		
総事業費 ( 5+10+11 )	12 千円	226,980	43,374	44,090	114,293	109,238	353,388			
単位当たりコスト ( 12÷1 )	13 円	75,660,000	21,687,000	7,348,333	28,573,250	27,309,500	70,677,600			
財源	受益者負担分	14 千円	0	0	0	0	0	0		
	国からの補助金等	15 千円	35,416	0	0	12,000	12,000	49,536		
	都からの補助金等	16 千円	8,854	0	0	18,000	18,000	55,536		
	その他の補助金等	17 千円	0	0	0	0	0	0		
	特定財源計 ( 14+15+16+17 )	18 千円	44,270	0	0	30,000	30,000	105,072		
差引：一般財源 ( 12-18 )	19 千円	182,710	43,374	44,090	84,293	79,238	248,316			
受益者負担比率 ( 14÷12 )	20 %	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0			

# 令和 3年度杉並区事務事業評価表（2）

## 令和 2年度 事業実施状況（D o）

整理番号 310

主な取組	内 容	規模	単位	事業費（千円）
	学童クラブ受入枠拡大のための実施設計等（桃一、和泉）	2	所	13,222
学童クラブ受入枠拡大のための改修工事（西田、沓掛、杉三）	3	所	84,592	
学童クラブ受入枠拡大のための施設修繕（永福南）	1	所	807	
初度消耗品、備品等の購入	4	所	3,660	
その他（備品搬出等）			1,855	
事業実績	小学校内に西田（荻窪第二）、沓掛（本天沼第二）、杉三（高円寺東第二）学童クラブを整備するとともに、小学生の放課後等の居場所機能などを移転した後の永福南児童館を学童クラブ専用施設として整備し、241人の受入枠の拡大を図りました。			

## 令和 2年度 評価と課題（C h e c k）

事業開始当初から現在までの環境の変化と事業に対する意見（期待・要望・苦情など）	女性の社会進出による共働き家庭の増加や核家族化の進展等による保育需要の高まりに連動し、学童クラブ需要も年々増加しています。 区の学童クラブにおいては、小学校内での実施を基本とし、学校改築に合わせた整備や余裕教室の活用などにより、児童の安全と今後の需要に応じた育成環境を確保していくこととしました。それまでの間、増加する学童クラブ需要に対応するため、児童館施設の改修等により受入数を拡大していくこととしています。
事業の今後（3～5年）の予測と方向性	当面は保育需要に連動して、学童クラブ需要も増加していくと予測されるため、各学童クラブの状況等に応じた受入枠の拡大等を図る必要があります。
計画（目標値）に対する実績（指標の分析等）	計画どおり4学童クラブの整備を行い、目標を達成しました。
評価と課題	受入枠を拡大することができた荻窪学童クラブ、本天沼学童クラブ、高円寺東学童クラブ、永福南学童クラブについて、令和2年4月1日時点で発生していた待機児童の解消を図ることができました。

## 令和 4年度の方針（A c t i o n）

予算の方向性（見直しの視点）	I 事業コストの方向性	拡充
	II 事業の改善の方向性	手段・方法の見直し（改善）・実施主体の見直し
予算の方向性の理由・内容	令和3年度に予定している（仮称）井荻学童クラブ（善福寺学童クラブを井荻小学校の近接地へ移転整備）、（仮称）桃三学童クラブ（西荻北学童クラブを桃三小学校内へ移転整備）、（仮称）桃一学童クラブ（桃井第二学童クラブとして桃一小学校内に整備）、（仮称）八成学童クラブ（井草第二学童クラブとして八成小学校内に整備）、（仮称）和泉学園学童クラブ校外育成室（和泉学園第二学童クラブとして整備）の整備を進めるとともに、計画改定に合わせて、令和4年度以降に待機児童が発生する学童クラブの実情に応じた待機児解消策を計画化していきます。	

# 令和 3年度杉並区事務事業評価表 ( 1 )

( 00786 )

事務事業名称	富士見丘小学校学童クラブの整備				款	04	項	02	目	03	事業	023	整理番号	311	
現担当課名	児童青少年課		係名	管理係		連絡先電話番号	4402		昨年度整理番号	307					
上位施策No・施策名	24 子ども・青少年の育成支援の充実								予算事業区分	投資事業					
事業開始	実行計画事業				目標	05	施策	24	計画事業	02		主要事業 ( 区政経営報告書掲載事業 )			
令和 2年度担当課名	児童青少年課								事業評価区分	一般					

## 令和 2年度 事務事業の概要 ( P l a n )

対象 施設管理	根拠法令等 ( 1 ) ( 2 )	児童福祉法第6条の3第2項 杉並区立児童青少年センター及び児童館条例、同施行規則
事業の目的・目標 ( 対象をどのような状態にしたいのか ) 学童クラブの入会需要の増加等に対応するため、学校改築に合わせた整備や余裕教室、敷地の一部等を活用する等の取組により、学童クラブ受入枠拡大と育成環境の充実を図る。	活動指標 指標名 ( 1 ) 指標説明 指標名 ( 2 )	学童クラブ移転整備
活動内容 ( 事務事業の内容、やり方、手段 ) 富士見丘小学校の移転改築に合わせて、同小学校内に高井戸西学童クラブを移転整備する ( 令和6年4月開設予定 )。	指標説明 成果指標 指標名 ( 1 ) 指標説明 指標名 ( 2 ) 指標説明	

## 指標、総事業費・コスト把握 ( P l a n ・ D o )

区分	単位	平成30年度	令和元年度		令和 2年度		令和 3年度	令和 2年度	令和 2年度
		実績	計画	実績	計画 ( 目標値 )	実績	計画	対計画比 (%)	予算執行率 (%)
活動指標 ( 1 )	1	0	1	1	1	1	1	100.0	100.0
活動指標 ( 2 )	2								
成果指標 ( 1 )	3								
成果指標 ( 2 )	4								
事業費	5 千円	0	3,915	3,335	5,048	5,047	58,040	特記事項	
( 内 ) 投資的経費等	6 千円	0	3,915	3,335	5,048	5,047	56,755		
( 内 ) 委託費	7 千円	0	3,915	3,335	5,048	5,047	58,040		
職員数	8 人	0.00	0.00	0.20	0.20	0.20	0.20		
上記以外の職員	9 人	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		
人件費	10 千円	0	0	1,744	1,744	1,701	1,701		
上記以外の職員	11 千円	0	0	0	0	0	0		
総事業費 ( 5+10+11 )	12 千円	0	3,915	5,079	6,792	6,748	59,741		
単位当たりコスト ( 12÷1 )	13 円	0	3,915,000	5,079,000	6,792,000	6,748,000	59,741,000		
財源	受益者負担分	14 千円	0	0	0	0	0		
	国からの補助金等	15 千円	0	0	0	0	0		
	都からの補助金等	16 千円	0	0	0	0	0		
	その他の補助金等	17 千円	0	0	0	0	0		
	特定財源計 ( 14+15+16+17 )	18 千円	0	0	0	0	0		
差引：一般財源 ( 12-18 )	19 千円	0	3,915	5,079	6,792	6,748	59,741		
受益者負担比率 ( 14÷12 )	20 %	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		

# 令和 3年度杉並区事務事業評価表（ 2 ）

## 令和 2年度 事業実施状況（ D o ）

整理番号 311

主な取組	内 容	規模	単位	事業費（千円）
	実施設計			
	その他（ ）			
事業実績	平成30年度に策定した改築基本計画に基づき、実施設計を行いました。			

## 令和 2年度 評価と課題（ C h e c k ）

事業開始当初から現在までの環境の変化と事業に対する意見（期待・要望・苦情など）	女性の社会進出による共働き家庭の増加や核家族化の進展等による保育需要の高まりに連動し、学童クラブ需要も年々増加しています。 区の学童クラブにおいては、小学校内での実施を基本としており、富士見丘小学校の改築に合わせ、富士見丘小学校改築検討懇談会等で保護者や地域の方々からいただいた様々なご意見を踏まえ、学校内に育成室を整備していくこととしています。
事業の今後（3～5年）の予測と方向性	令和3年度から建設工事に着手し、令和6年4月に（仮称）富士見丘学童クラブを開設する予定です。
計画（目標値）に対する実績（指標の分析等）	計画どおり、実施設計を実施しました。
評価と課題	計画どおり、実施設計を実施しました。令和3年度は建設工事に着手します。

## 令和 4年度の方針（ A c t i o n ）

予算の方向性（見直しの視点）	I 事業コストの方向性	拡充
	II 事業の改善の方向性	現状維持
予算の方向性の理由・内容	令和6年4月の開設に向け、令和3年度から建設工事に着手します。	

# 令和 3年度杉並区事務事業評価表 ( 1 )

( 00750 )

事務事業名称	阿佐谷児童館の移転整備			款	04	項	02	目	03	事業	031	整理番号	312
現担当課名	児童青少年課		係名	管理係		連絡先電話番号	4401		昨年度整理番号	309			
上位施策No・施策名	24 子ども・青少年の育成支援の充実							予算事業区分	投資事業				
事業開始	平成29年度												
令和 2年度担当課名	児童青少年課							事業評価区分	一般				

## 令和 2年度 事務事業の概要 ( P l a n )

対象 施設管理	根拠法令等 ( 1 ) ( 2 )	児童福祉法第35条  杉並区立児童青少年センター及び児童館条例、同施行規則
事業の目的・目標 (対象をどのような状態にしたいのか) 杉並第一小学校等施設整備等方針に基づき、阿佐谷児童館を移転し、阿佐谷地域区民センターと統合を図り、複合施設とする。	活動指標 指標名 ( 1 ) 指標説明 指標名 ( 2 )	基本・実施設計  建設工事
活動内容 (事務事業の内容、やり方、手段) 阿佐谷児童館を移転し、阿佐谷地域区民センターと統合を図り、複合施設として整備する。	指標説明 成果指標 指標名 ( 1 ) 指標説明 指標名 ( 2 ) 指標説明	

## 指標、総事業費・コスト把握 ( P l a n ・ D o )

区分	単位	平成30年度	令和元年度		令和 2年度		令和 3年度	令和 2年度	令和 2年度	
		実績	計画	実績	計画 (目標値)	実績	計画	対計画比 (%)	予算執行率 (%)	
活動指標 ( 1 )	1 式	1	1	1	0	0	0	0.0	100.0	
活動指標 ( 2 )	2 式	0	1	1	1	1	1	100.0		
成果指標 ( 1 )	3									
成果指標 ( 2 )	4									
事業費	5 千円	6,749	119,363	112,088	44,051	44,051	257,398	特記事項		
(内) 投資的経費等	6 千円	0	107,190	99,915	43,575	43,575	244,519			
(内) 委託費	7 千円	6,749	12,173	12,173	476	476	3,738			
職員数	常勤職員数 (再任用含)	8 人	0.10	0.10	0.10	0.05	0.05	0.50		
	上記以外の職員	9 人	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		
人件費	常勤職員分 (再任用含)	10 千円	843	843	872	436	425	4,252		
	上記以外の職員	11 千円	0	0	0	0	0	0		
総事業費 (5+10+11)	12 千円	7,592	120,206	112,960	44,487	44,476	261,650			
単位当たりコスト (12÷1)	13 円	7,592,000	120,206,000	112,960,000	0	0	0			
財源	受益者負担分	14 千円	0	0	0	0	0	0		
	国からの補助金等	15 千円	0	11,873	11,873	9,421	2,330	6,410		
	都からの補助金等	16 千円	0	13,039	13,039	9,421	2,330	6,410		
	その他の補助金等	17 千円	0	0	0	0	0	0		
	特定財源計 (14+15+16+17)	18 千円	0	24,912	24,912	18,842	4,660	12,820		
差引: 一般財源 (12-18)	19 千円	7,592	95,294	88,048	25,645	39,816	248,830			
受益者負担比率 (14÷12)	20 %	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0			

# 令和 3年度杉並区事務事業評価表（ 2 ）

## 令和 2年度 事業実施状況（ D o ）

整理番号 312

主な取組	内 容	規模	単位	事業費（千円）
	建設工事			43,575
	工事監理			476
	その他（ ）			
事業実績	阿佐谷児童館を移転し、阿佐谷地域区民センターとの統合を図り、複合施設として整備するための建設工事を行っています。			

## 令和 2年度 評価と課題（ C h e c k ）

事業開始当初から現在までの環境の変化と事業に対する意見（期待・要望・苦情など）	杉並第一小学校の近隣病院への移転・建替え計画を受けて、平成29年度に杉並第一小学校等施設整備等方針を策定しました。 建設工事に際して騒音や振動、安全確保に関する要望等があります。
事業の今後（3～5年）の予測と方向性	令和4年4月に阿佐谷地域区民センターとの複合施設として運営を開始する予定で、建設工事を進めます。
計画（目標値）に対する実績（指標の分析等）	当初の計画どおり建設工事に着手しましたが、土工事の事前調査において地下水が想定外に発生することが判明し、地下水への対策方法について変更等が生じたため、工事期間が延期することとなりました。 【工期】 変更前：令和2年3月30日から令和3年10月29日 変更後：令和2年3月30日から令和4年 2月18日（予定）
評価と課題	工期が令和4年2月18日と延期になりましたが、阿佐谷児童館の運営開始は令和4年4月で変更することなく実施する予定です。 この間、工事に関する要望への対応は、説明会等で周知を図ってきたところですが、引き続き丁寧な説明に努め、近隣住民や利用者の理解と協力につなげていきます。

## 令和 4年度の方針（ A c t i o n ）

予算の方向性（見直しの視点）	I 事業コストの方向性	拡充
	II 事業の改善の方向性	手段・方法の見直し（改善）・実施主体の見直し
予算の方向性の理由・内容	令和4年4月の運営開始に向けて、阿佐谷児童館と阿佐谷地域区民センターとの複合施設の建設工事を進めます。	